



伊丹市議会議員 おおつる 求 の活動報告

みんなちがって、 みんないい



外国人へのデマ・ヘイトがまき散らされた参議院議員選挙

推し進めるべきは分断や対立ではなく“連携や協調” (市長)

大人が示すべきは排除や差別ではなく“理解と共生” (教育長)

「多文化共生社会」を目指す本市の見解を示す

7月に投開票された参議院議員選挙。候補者などが選挙運動を通じて、外国人に関する“デマ”や“ヘイト”を声高に叫び、その言動がSNSで拡散された。

同時に、生活苦の矛先が外国人に向けられ、「日本人ファースト」など外国人を排除・管理する政策が争点化される異常事態だった。

本市にも外国籍、外国にルーツがある方が、共に生活している。本市の見解を市長と教育長に質問した。



中田市長は、「外国人に対する一面的なイメージが、分かりやすいコピーと共に拡散し、マイナス感情を広めた」と分析し、「そのような感情が、外国人や外国ルーツを持つ人の価値観・文化への理解を妨げ、偏見や差別を生む」と危機感を表明した。そのうえで「多様性が活かされた社会が、本市が目指す社会。推し進めるべきは、分断や対立では決してなく連携や協調だ」と答弁した。

続いて**太田教育長**は、「外国籍等の子への差別的言動は心を深く傷つけるもの。決して見過ごすことはできない。市の目指す“カラフルな教育”は、違いを豊かさにつなげる教育。大人が子どもたちに示すべきは、排除や差別ではなく、理解と共生の姿勢だ」と力強く語った。

答弁を受けて**私は**、「賃金が安い、社会保険料負担が重い、年金が少ない、未来が見えない、

今、社会に充満する不満はすべて“政治の問題”だ。

差別につながる言葉も、人の生死を左右する暴力となりかねない。“多文化共生”の街づくりを、今後も進めていきましょう」と呼びかけた。



来年度で中学校部活動は地域に移行

スポーツ庁が全国的に進めている施策。本市の場合、運動部は来年夏の中学校総体後、文化部は秋の学習発表後に、部活動は事実上「廃止」され、希望者は地域クラブで活動することになる。

◆どこを拠点に何の地域クラブが出来るのか

12月には地域クラブの全体像を発表する予定。

情報は市Web、SNS、新入生保護者説明会や学校を通じて発信する。

◆月々の会費はいくらかかるのか

保護者負担を可能な限り小さくするため、月額会費の上限額を5千円に設定した。また経済的困窮世帯への支援について今後検討を行っていく。



@ITAMI_ED_CHIIKICLUB

↑地域クラブの状況を
インスタで随時発信中。
是非フォローを。

演劇ホール(アイホール)跡 民間に貸出へ



市民的議論があり、世間的にも注目された「関西演劇界の聖地」だった演劇ホール。3月議会で私は「演劇ホール廃止条例」に反対したが、賛成多数で可決されたため、今年度で演劇事業を終了する。

現在、演劇ホール建物一棟を借りて、JR伊丹駅前を活性化してくれる事業者を募集中(11月17日まで)。

貸付の基本条件は、家賃60万9千円以上、5年以上借りてくれること。引き渡し時期は2027年4月頃となっている。

どのような事業者が手を上げるのか、今後も注視していく。

市営バスは「本市の財産」

鉄道空白地域が8割を占める本市。伊丹市営バス路線網は市民生活に欠かすことのできないインフラだ。

全国的に公営バスが民営化され、不採算路線が無くなる昨今。市長に市営バスの存在意義を尋ねた。

市長は、「なくてはならない交通手段。福祉・街づくり・環境などの施策とも連携し、柔軟かつ効率的な事業を展開している」とし、「社会参加を促進し、あらゆる世代の健康的な暮らしや、魅力ある街づくり、未来へつなぐ街づくりに寄与している」と位置付けた。

その上で、「地域公共交通を取り巻く環境は厳しいが、皆さんが市営バスを利用することが、将来の移動手段の確保に繋がる、本市の財産として皆さんと共に守り育てていきたい」と答弁した。

公営バスがある自治体

都道府県

東京都、長崎県

政令指定都市

仙台市、川崎市、横浜市
名古屋市、京都市、神戸市
北九州市

それ以外

青森市、八戸市、高槻市
伊丹市、松江市、宇部市、
徳島市、佐賀市、鹿児島市

統合新病院のアレコレ

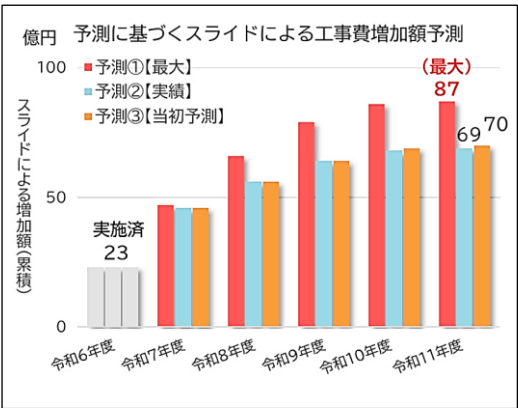
本市のビックプロジェクトである市立伊丹病院と近畿中央病院の「統合新病院建設事業」。

「診療を継続しながら現地建替え」の難しさや、二度の入札不調による工期1年延期など、当初から厳しい条件を兼ね備えていた。

その後も、様々な想定外の出来事を乗り越えながら進んでいる事業だ。



想定外が続く 統合新病院建設事業



物価高等による工事代金増額

これは国内経済全体に言えることだが、コロナ禍明けの建設資材高騰や人件費増で病棟等建設費は増加の一途。

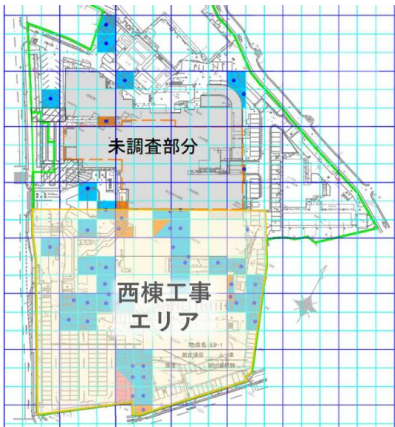
スライド条項(*)適用の度に「建築費指数の今後の見通しと工事費に与える影響額」を試算し、財源の備えをしているものの、今後も予断を許さない。

(*) 工事契約締結後に賃金や物価の変動額が一定割合を超えた場合に、請負代金額の変更を請求できる規定。

想定の7.6倍！ 汚染土量が発覚

これも「診療を継続しながら現地建替え」ならではの難しさかもしれない。建築物下部の土壌調査が出来ないため、建物周辺の調査値から西棟工事の汚染土量を約 2,100 m³と想定していた。

ただ解体し調査したら約 16,000 m³と想定約 7.6 倍の汚染土量だったため、大規模対策工事が必要となり、2 年弱の工期延長、それに伴う工事代金増加となった。



近畿中央病院が2026年3月末で診療休止

調べていくと、昨年秋頃には、運営母体である公立学校共済組合は市に“SOS”を発していた。ただその要求に応えるのは困難だったことも事実。今年5月、共済組合は「今年度で診療休止」を発表した。

市は近畿中央病院閉院後の救急受入れ体制構築、伊丹病院の診療科新設・拡張、職員の先行雇用など対応に追われている。

年度	6 (2024)	7 (2025)	8 (2026)	9 (2027)	10 (2028)	11 (2029)
基幹病院 (西棟整備工事)	土壌汚染対策の影響を受けて 地下工場の工期が延長			1	令和9年度後半の 基幹病院閉院をめざす	
健康管理施設 (東棟改修)				2	令和10年度前半の 健康管理施設オープン をめざす	
連絡棟						
解体工事						
駐車場工事 (グランドオープン)					3	令和11年度前半の 統合新病院グランド オープンをめざす

一方、来年度中に資金不足に陥ると想定される伊丹病院も苦しい。

今年度末に、統合新病院収支シミュレーションの修正版が公表される予定だ。

フォト・ダイアリー ～日常の一コマ～



[写真説明 左上から時計回り]

- 今年も「からふるいたみ」の夏祭りに参加。熟語づくりに挑戦!
- 200名以上が参加した近畿中央病院診療休止の住民説明会。
「統合新病院が開院するまで診療を続ける」が一転、診療休止へ。
- 南小フェスタ。今年も炭坑節を叩かせていただきました。
それまでの時間は自治会模擬店で“かき氷”作りに熱中。
- 今年も会派メンバーと「ストップ気候危機アクション」



2026年2・3月だけ ← **重要**

小学校給食費無償化

「2ヶ月だけ?」「4月からは?」
物価高騰対策に使ってね、という
国のお金を使うため、とのコト。
そのお金が2ヵ月分あるから、と。
だから、4月以降は元に戻ります。

なんか釈然としないけど、
反対理由も無いし、というお話。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ
伊丹市議会議員 **おおつる 求**

090-8122-7114 <https://ootsuru.com/>



【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして
「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆院議員(元宝塚市長)
秘書 ■建設従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
■2015年市議選に社民党公認で当選。19年再選、23年3選
■会派「フォーラム伊丹」所属 ■稲野自治会役員 ■防災士

日々雑感

- 過去最高を更新し続ける夏の気温。
種が無いアサガオが咲き乱れる10月。
- 国指定文化財である「伊丹廃寺跡」。
- 財源を問われる減税議論、問われないため「抑止力」が働かない防衛費の増額。
- 「その香り 困っている人もいます」。
- 「化学物質過敏症」への配慮を考える。
- 米の適正価格って、結局いくらなのか。
- イノベーションマネージャー、スーパーバイザー、プロジェクトマネージャー、チームリーダー。役職名が乱立。誰が偉い人?
- 唯一の戦争被爆国で、「核兵器使用は安上り」と公言する国会議員が誕生し、福島第一原発事故で今なお苦しんでいる中で、原発新設へと進む国。だから何度でも、「核と人類は共存できない」。
- ネット投票が8割。ポット売上好調。10億円を市へ。ただ原資を想うと複雑。
- 「下駄の雪」溶ける。不満が猛暑化。
- 値札を二度見。グラム・個数で割り算。楽しみが苦行に。スーパーでの買い物。
- 市長就任半年、企業化する市役所。